

# 令和5年度 横浜市立城郷中学校 学校評価アンケート結果

令和5年12月におこなった学校評価アンケートの結果（概要）です。本校の教育活動について、生徒・保護者・教職員からの意見をそれぞれ調査し、よりよい学校づくりに活用する目的で実施いたしました。いずれも8割を超える高い回答率が得られました。



## 【結果・考察】

今年度はコロナ禍の教育活動の制限がなくなり、体育祭や文化祭などの学校行事を通じて充実した体験が行えたことと実感できたことが分かり、喜ばしい結果となりました。一方で、地域と連携、貢献を目的とした活動は十分に行うことができず、今後の課題です。

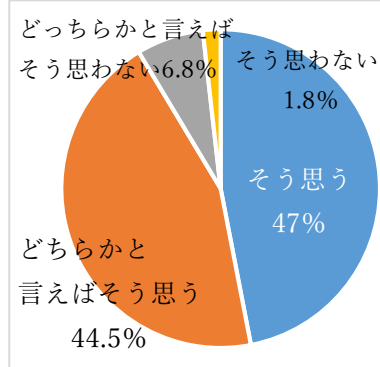
昨年度と同じく、生徒・保護者・教職員ともに学校を「安心・安全」な場と認識していることが読み取れました。また、多くの生徒が学級組織を肯定的に捉え、友人とお互いを認め合える関係を築けていることが分かりました。ローテーション道徳や研究授業の実施によって道徳教育の充実を図るなどの人権教育への取組や、教育相談や生活アンケート、Y-P アセスメントの実施によって、生徒一人一人の状況を細やかに把握し、変化を見逃さない体制づくりを目指したことが成果につながっていると考えます。

コロナ禍で一人一台のGIGA端末が配備され、教育活動でのICT活用をすすめ授業改善に取り組んでいます。今回の調査で多くの生徒、保護者が授業等でICTを活用できていると感じていることが分かりました。分かりやすい授業への取組について高い評価を得ていることから、ICT活用の有効性を感じています。今後も継続して取り組んでいきたいです。

学習に関しては、生徒、保護者ともに授業以外での学習について課題を感じている回答が、昨年度同様に2～3割ありました。今後も学習支援の充実を図れるよう、各教科や学年で検討して組織的に展開していく必要があると考えられます。

「志す・翔く・拓く」を学校教育目標として掲げ、生徒に身に付けてほしい力を5つの視点「知」「徳」「体」「公」「開」で表し、相互に関連付けながらバランスよく育むことに取り組んでいます。今回の調査結果を学校教育目標と5つの視点の評価改善に活かし、よりよい学校づくりをすすめていきます。

私は、安心して学校生活を送れていると思う。(生徒)



調査にご協力いただいた生徒、保護者に感謝いたします。  
今後も、生徒たちの学習や活動の充実に向けて安全にできる方法を検討しながら教育活動を進めてまいります。